

## 芦別青年会議所主催の講演会で市長が芦別の未来について語る

8月29日、一般社団法人芦別青年会議所主催の「市長が語る芦別の未来」が、総合福祉センターで開催されました。

これは、今年6月に市と同会議所が「あしべつまちづくり事業連携協定」を締結したのを記念して行われたものです。

講演会には、市民の皆さんら

188人が参加。荻原貢市長は、「地方財政が厳しい中でも、子育て支援をはじめとした若い世代の定住を促進する施策は必要で、財政とのバランスをどう取っていくかが課題です」などと述べました。

この後、同会議所の佐藤祐一理事長と対談を行い、市民の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



## 芦別温泉を活用した地域活性化包括連携協定を結ぶ



9月5日、市と株式会社温泉道場（本社・埼玉県ときがわ町）、芦別温泉スターライトホテルの運営を行っている北海道ホテル&リゾート株式会社の3者による「地域活性化に関する包括連携協定」の締結式を行いました。

これは、株式会社温泉道場が

玉県を中心に展開している「おふるcafe」ブランドのフランチャイズ契約を北海道内で初めて締結したことを機に協定の運びになったもので、これにより、芦別温泉がさらに魅力的で、地域活性化の中心施設となっていくことが期待されています。

## 市と星槎国際高等学校本部校が国土交通大臣賞を受賞

9月10日、第11回国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の授賞式が、国土交通省（東京都）において行われました。

星槎国際高等学校本部校の生徒による、星座マンホールに着目した地域活性化策の提言を契機に、昨年25周年を迎えた下水道事業をPRするため、記念バッジやマンホールマッ

プの作成、市職員による授業など、行政と高校がコラボした取り組みが評価され、「広報・教育部門」において表彰されました。

表彰式では、市と高校を代表し、生徒会副会長田中結衣さんが石井国土交通大臣から賞状を受け取り＝写真＝、取り組み内容の発表を行いました。



## 本市出身の土山希美枝龍谷大学教授にあしべつ応援大使を委嘱



9月14日、市は本市出身で現在龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏に星の降る里あしべつ応援大使を委嘱しました。

また同日、芦別市民憲章制定50周年記念事業として、土山教授を講師とするまちづくり講演会を総合福祉センターで開催し、約150人が会場に詰めかけました。

土山教授は、公共政策論、地方自治、政治学が専門。当日は、「『わたしたち』が芦別をつくるー市民と市とまちづくりー」と題して講演。「芦別での暮らしを良くするには、何が必要か」などの論点を提示して7参加者によるグループ討議なども交えながら、将来のまちづくりについて助言を行いました。